

ブランディング委員会

委員長 杉谷 俊輔
副委員長 真弓 裕也

1) 基本方針

1 青年会議所の魅力、意義を伝える会員拡大活動や会員の資質向上は青年会議所の未来を
2 創るうえで欠かせません。しかし、私たちが思う魅力や意義について、会員間での理解や
3 共感には個人差があります。より良い未来を創るには、青年会議所活動の魅力や意義を会
4 員全員で理解し、共感する必要があります。そして、会員一人ひとりが会員拡大活動に対
5 する主体性をもち、多くの同志を集める活動に対して、意欲を増進させる必要があります。

6 ブランディング委員会では会員の拡大意識の向上と、個人や組織の資質向上の両輪で会
7 員全員が会員拡大活動へ主体性を持てるよう努めてまいります。会員拡大活動における会
8 員の意識や入会促進の手法等において、形式的な拡大マニュアルではなく、会員の一人ひ
9 とりが青年会議所の強みと存在意義を理解し、会員同志で魅力を共感し、青年会議所の想
10 いを多くの方へ発信していきます。そして、資質向上に努めて「個」のブランディングを
11 確立し組織のブランディングへつなげていくと共に、会員拡大活動を全会員で助け合える
12 体制を整えます。また、会員一人ひとりが意欲的に活動できることは何かを明確にし、
13 拡大に向けた魅力を発信できるよう意識改革を行います。2月度例会では会員の拡大意識
14 における視野の拡張を行います。そして、会員拡大と資質向上の循環による効果を高める
15 ため、会員拡大会議を実施し意識改革を行います。9月度例会では、青年会議所でこそ掴
16 める成長や価値を見出し、個人、組織のブランド力を具現化することで、多くの方々へ私
17 たちの魅力や可能性を感じていただき、多くの同志を募り、会員拡大につなげていきます。

18 ブランディングとはファンをつくることです。青年会議所は品格のある青年集団である
19 と一人ひとりが自覚をもって主体的に行動した結果、組織は大きく成長します。四日市青
20 年会議所は今以上にまちや地域に求められる、人に愛される組織になると確信しています。

22 2) 事業計画

23 1. 「個」のブランディングを高め組織で行う拡大活動 通年
24 2. 2月度例会 2月19日
25 3. 9月度例会 9月9日
26 4. 対外事業窓口（献血） 1月、7月
27 5. 出向者への支援 通年
28 6. 同好会への支援 通年

30 3) 事業予算

171,000円

31 32 4) 委員会開催予定日

毎月第2火曜日

33

34

35 第二回正副理事長予定者会議 2024 年 10 月 10 日(木)

36 意見 1: ブランディング委員会の課題は会員数が減少することが問題なのでしょうか。

37 対応 1: 青年会議所活動における主体性や意欲に個人差生じ、拡大への意識が低下していることが課題であると考え訂正しました。

38 意見 2: L2 「減少傾向」にあるのはなぜか、また他 LOM との比較では四日市青年会議所は退会者が多いが、その要因は考えていますか。

39 意見 2: 他 LOM 比較では多いが、退会者も多いと確認し、その要因として、青年会議所活動における主体性や意欲の差であると考え、減少傾向という表現を訂正しました。

40 意見 3: 拡大と資質向上の順番について、どちらが先という考えはありますか。

41 対応 3: 両方ともが大切ではあるので、どちらが先ではありません。拡大活動と資質向上は常にループするものなので優越はありませんが、結果として拡大することが目標のため拡大が先に来ています。

42 意見 4: 「拡大マニュアル」の記載について、過去の手法を否定しているようにみえるので表現を一考してください。

43 対応 4: 否定はしていませんが、今以上にという意味合いであるので、表現は訂正しました。

44 意見 5: L9 共感については前文のどこにかかっているのか教えてください。

45 対応 5: 会員同士の青年会議所の魅力についての共感という意味ですので、前文を分かりやすいように訂正しました。

46 意見 6: 理事長所信に関わる箇所はどこなのか教えてください。

47 対応 6: 青年会議自体の問題も社会問題の一つとして捉え、その活動の根幹となる拡大活動へ、主体性が出ていないという部分に関連すると考え L1 から L5 まで訂正しました。

48 意見 7: 課題が明確に書かれていないように読み解けるので、一考してください。

49 対応 7: 対応 1 と同様に課題についてさらに深堀をし、課題を明確化し訂正しました。

50 意見 8: L1 から L5 まで現状の説明になっており、減少傾向や、一丁目一番地とかは結果しか書いていない。また L4 の多様性についても記載がなくても伝わるのではないかと思いますので、文章を精査してください。

51 対応 8: 課題について再度精査、深堀を行い、記載を訂正しました。

52 意見 9: 2025 年度も拡大の意識が非常に高いと聞いているので、基本方針や年間事業概要を読んで、本当に拡大が成功しそうな、思いのある文章にしてほしい。

53 対応 9: 目的、手法の細部を訂正しました。第一に拡大活動に対しての全員の意識改革が必須ですので、課題である主体性、意欲の個人差を会一丸となるよう軌道修正を行い、全員で行う拡大活動につなげてみせます。また、候補者との面談数なども数値化し、日々目標をもって取り組みます。

54 意見 10:L1 から L5 内に資質向上に関わる課題が書かれていないので訂正をお願いします。

55 対応 10: 主体性が持てず、意欲的に活動できていないことが資質向上と拡大意識にも共通する課題であると考え訂正しました。

56 意見 11:L1 から L5 までの内容が以降の手法や年間事業概要とリンクしていないので記載を一考お願いします。

57 対応 11:L1 から L5 の背景を訂正するとともに、手法も訂正しております。年間事業概要も同じく訂正いたしました。

58 意見 12:2025 年度の拡大のテーマがあれば教えてください。

78 対応 12:青年会議所活動に対しての主体性、意欲の個人差を埋めて全員で拡大活動ができる体制づくりをテーマとしています。

80 意見 13:最後の文章に急に「愛」とあるがどのような意味で記載したのか教えてください。

81 対応 13:L18 で「ブランディングとはファンをつくること」と定義しています。ファンに愛される必要があります。愛なきところにファンは来ません。その思いで「愛」と表現しています。

84 意見 14:四日市が良くなるために青年会議所がいると考えて文章を一考してください。

85 対応 14:ブランディング委員会も同じ思いです。四日市がより良くなるためには青年会議所の活動をより多くの方々へ広め、そのうえで共感を得た方々を同志として募る拡大活動が四日市をよくすることになると思います。

88 意見 15:L2 「上で」は正しくは「うえで」になるので訂正をお願いします。

89 対応 15:「うえで」に訂正しました。

90 意見 16:L3、L19 「延いては」は一般的にひらがなで、記載するのが正しいので、訂正をお願いします。

92 対応 16:「ひいては」に訂正しました。

93 意見 17:L8 手法ではなく、「手段」と記載した理由を教えてください。

94 対応 17:「手法」に訂正いたしました。

95 意見 18:L16 「期待」とあるが受動的な言葉であり、青年会議所では自ら能動的に動くことが重要であると思うので、訂正をお願いします。

97 対応 18:「青年会議所でこそ手に入る成長や価値」と訂正し、自ら能動的に動くきっかけになるよう表現しました。

99 意見 19:L18 「ブランディング」と記載されているが、理事長所信には鍵括弧がついていないので、理事長所信に合わせた記載にしてください。

101 対応 19:鍵括弧を削除しました。

102 意見 20:L19 句読点が多い文章は読みにくい文章になるので、適切に読点を入れてください。

103 対応 20:文章を一考し、適切な句点となるように訂正しました。

105 意見 21:年間事業概要の通年議案上程スケジュールを確認してください。

106 対応 21:一部誤記がありましたので、訂正いたしました。

107 意見 22:9月度例会について、オブザーバーを多く呼びたいのであれば、審議を 2か月前にしたらどうでしょうか。

109 対応 22:上程スケジュールを訂正し、2か月前審議としました。

110 意見 23:年間事業概要の通年議案の文章において、区切りが分かりにくい場所があるので表現一考してください。

112 対応 23:読みやすいように表現を一考し、訂正しました。

113 意見 24:通年議案において、JC プログラムを利用するのであれば、費用は企画演出費ではなく、講師関係費に含まれるので、訂正をお願いします。

115 対応 24:講師関係費に訂正しました。

116 第二回理事予定者会議 2024 年 10 月 23 日(水)

117 意見 1: 拡大話法のイメージはどのような感じか、また、よくないような使い方にも見えてるので、どのように考えているか教えてください。

119 対応 1: イメージは候補者を誘うときの口説き文句のようなものをイメージしています。読み手の受け取り方もあるので表現を一考します。

121 意見 2: SNS 等を活用して発信するとありますが、何を中心考へているのか。
122 対応 2: 固定していません。それぞれで考へております。
123 意見 3: SNS について事務局との連携をどのように考へていますか。
124 対応 3: 事務局長と連携し、四日市青年会議所の公式 SNS を活用するように考へております。
125
126 意見 4: 資質向上についての会員メンバーに促進するような工夫はあるのか。
127 対応 4: JC プログラムの活用や交流会などを通して普段の資質を考える機会を考へています。
128
129 第三回正副理事長予定者会議 2024 年 11 月 13 日(水)
130 意見 1: 拡大活動ではなく、「会員」を付けなければ伝わりにくいのではないか。
131 対応 1: 会員拡大活動に統一し、修正します。
132 意見 2: 2 行目主語がなくて分かりにくいので訂正するようにしてください。
133 対応 2: 主語が分かりやすくなるように文章を訂正いたしました。
134 意見 3: 背景の協調性という言葉について、課題として理解しにくいので、訂正してください。
135
136 対応 3: 協調性をいう言葉を削除し、訂正いたしました。
137 意見 4: 「最も重要です」とあるが、断定しているのは非常に強い表現になるので一考して
138 ください。
139 対応 4: 断定した表現ではなくし、訂正いたしました。
140 意見 5: 新しい魅力とはどのような魅力かわかりにくいので表現を一考してください。
141 対応 5: 表現について、魅力とは何かを考え、訂正いたしました。
142 意見 6: L14 の「効率化」は前文からの流れで正しい表現ではないと思うので訂正してください。
143
144 対応 6: 循環に対する最も適切な表現を考え、訂正いたしました。
145 意見 7: 句読点が多いので、文章の構成を見直してください。
146 対応 7: 句読点の位置や読みやすさを考慮し訂正いたしました。
147 意見 8: 背景において資質向上の課題点が分かりにくいので一考をお願いします。
148 対応 8: 背景を見直し、会員拡大と共に通する課題点を記載し、訂正いたしました。
149 意見 9: 人としての資質向上とは何か、プランディング委員会の考えを教えてください。
150 対応 9: 人としての資質向上は拡大活動を行っていくうえで自然としていかなくてはいけ
151 ないところだと考えます。背景ではあくまで会員拡大のための資質向上として記載
152 しております。
153 意見 10: オリエンテーションについてもう少し深堀が必要ではないのか。
154 対応 10: L13、L14 で記載しております助け合える体制として記載しております。
155 意見 11: 拡大のための資質向上でも良いが、1 行目や 2 行目にも魅力や意義しかないので
156 分かりにくい。
157 対応 11: 改めて資質向上と会員拡大のつながりを考慮し背景文章訂正いたしました。
158 意見 12: L19 から L20 の言葉のつながりが分かりにくい。「その結果」とかを入れればより
159 読みやすくなるので、訂正をお願いします。
160 対応 12: 読みやすくなるように、訂正いたしました。
161 意見 13: 協調性を高めるは目的が同じであることであり、意義はどちらかというと個人同
162 士で違うので、協調性をという言葉の意味合いを考えてください。
163 対応 13: 対応 3 にも記載のとおり、協調性をいう言葉を削除し、訂正いたしました。

- 164 意見 14:活動に対する意義は様々あっても良いと思うがいかがでしょうか。
- 165 対応 14:青年会議所を続ける意義は個人で様々だと思います。四日市青年会議所の意義と
166 いう意味で記載しています。
- 167 意見 15:主体性と能動的の違いについて、同じように見えるので表現を統一した方が良い
168 と思うがいかがでしょうか。
- 169 対応 15:主体性は自身の判断、能動的は周囲を巻込むことを含んでいます。両言葉ともよ
170 く似ていますが同じではないと考えています。
- 171 意見 16:同じ言葉が多いく、繰り返しのようにも見えるので、分かりやすいように訂正を
172 お願いします。
- 173 対応 16:表現を見直し、読みやすい文章になるように訂正いたしました。
- 174 意見 17:L10 の「重要です。」は文章の区切りが分かりにくいので、訂正をお願いします。
- 175 対応 17:区切りを明確にするように表現を一考しました。
- 176 意見 18:9 月度例会で拡大が成功しているのであれば、あればもっと違うやり方があるの
177 ではないでしょうか。
- 178 対応 18:青年会議所でこそ掴める成長や価値を見出し、個人、組織のブランド力を具現化
179 することが資質向上の一つであると捉えています。2025 年度の 3 分の 2 を経過し
180 た 9 月でこれまで資質向上に努めた結果を整理して、会の品位品格を向上できた
181 ことを再確認し、更なる拡大につなげていける例会を想定しています。
- 182 意見 19:年間事業概要内一人ひとりを訂正してください。
- 183 対応 19:正しい表現に訂正しました。
- 184 意見 20:年間事業概要内スケジュールについてオブザーバーを呼ぶなら 2 か月前審議にし
185 た方が良いのではないですか。
- 186 対応 20:2 か月前審議になるように訂正いたしました。
- 187 意見 21:拡大のやり方は多くあるけど、中身を分割しなくても良いのではないか。広い大
188 きな枠で考えて活動を行ってほしい。
- 189 対応 21:通年議案内にてどのように考えているのか記載いたしました。
- 190 意見 22:9 月以降でなくとも、すべてが次年度につながる活動になるので意識してほしい。
- 191 対応 22:青年会議所活動が全て未来の会員拡大につながることを理解し、行動に移していく
192 きます。
- 193 意見 23:目的が拡大で逆算して資質向上につながっている方が分かりやすいのではない
194 ですか。
- 195 対応 23:その通りかと思いますので、背景を訂正いたしました。
- 196 第三回理事予定者会議 2024 年 11 月 22 日(金)
- 197 意見 1: L8 「形式的な拡大」ではないことが次年度の特徴かと捉えましたが、その特徴と
198 比較とされている「形式的な拡大」とはどのようなものでしょうか。候補者の課題
199 ヒアリングし、それも JC でできます! のようなものですか。
- 200 対応 1: 形式的な拡大→型にはまった拡大というイメージです。形式的の対義としては
201 実質的となりますので、拡大活動については臨機応変に対応行動していくことに
202 工夫が必要だと考えています。
- 203 意見 2: L9 「青年会議所の想い」は、青年会議所という組織の想いでしょうか。所属する
204 一人ひとりの青年会議所への想いでしょうか。
- 205 対応 2: ここでは青年会議所組織の想いです。
- 206 意見 3: L18 「ファンをつくること」は印象的で想いのある言葉選びと感じましたが、どの

- 207 ような想いで「ファン」を使われていますか。
- 208 対応 3: 地域の方々から応援され、愛される組織となることをイメージしてファンという
209 言葉を選びました
- 210 意見 4: L4 必要ありますは必要がありますではないでしょうか。
- 211 対応 4: 訂正いたしました。
- 212 意見 5: L3~4 魅力や意義の理解、共感というのは、様々な魅力や意義がある中でお互い
213 を尊重しあうようなイメージでよろしかったでしょうか。
- 214 対応 5: お互いを尊重し合うというのは違うイメージかと思います。青年会議所にあるた
215 くさんの魅力や、存在意義についてを会員全員が知り、共感することです。
- 216 意見 6: L5 主体性をもちではなく、主体性をもたせ、という表現にした理由はありますか。
- 217 対応 6: 主体性をもちという表現は、意欲的に個人が行動しているイメージの言葉と思い
218 書きましたが、今現状で考えれば持てていない方がいた場合に周りでフォローし
219 前向きな拡大意識を持たせていこうというイメージの方が表現として正しいと感
220 じましたので訂正いたしました。
- 221 意見 7: L11 会員拡大活動を全会員で助け合える体制とはどのようなイメージでしょうか。
- 222 対応 7: 拡大活動については得手不得手が会員各自であると思います。まずは苦手意識が
223 あるのであれば率先してやってきたメンバーからの前向きな考え方などを聞くのも
224 大切かと思います。そして拡大活動を行っていくなかで候補者への説明や、申し
225 述までのもっていき方などがわからないときなども、クロージングができる人
226 から学び自分なりのやり方をつくっていけるようにいたします。
- 227 意見 8: L5 多くの同志とありますが「同志」とはどのような事に対してでしょうか。
- 228 対応 8: ここでは、青年会議所活動に対して同じ志を持つ者ということです。
- 229 意見 9: L13 意識改革を行いますとありますがどのような事を考えていますか。
- 230 対応 9: 会員個人が青年会議所活動に主体性を持って参画するようになり、会員拡大への
231 意識を継続的に高め、全員が前向きに取り組めるようにしていくことです。
- 232 第四回理事予定者会議 2024年11月29日(金)
- 233 意見 1: L10 と、L11 内にそしてが 2 回続く記載があるので、訂正してください。
- 234 対応 1: 文章を見直し訂正しました。
- 235 意見 2: L14 と、L15 および L18、L19 に句読点が多いので、訂正をお願いします。
- 236 対応 2: 文章構成が分かりやすいように訂正いたしました。
- 237 意見 3: 意識改革について、努めますではなく、実行しなければならないのではないでし
238 ょうか。
- 239 対応 3: 行いますと訂正いたしました。
- 240 意見 4: L18 の品位については、定款に記載がないので訂正をしてください。
- 241 対応 4: 品位という文字を削除し、訂正いたしました。